

こんにちは。

オーストラリア留学6か月目に突入し、ターム3の約半分が過ぎ新しい科目にも次第に慣れてきました。オーストラリアは今年9月1日から春に変わり、8月中旬には通学路で桜が咲いているのを見つけたりと少しずつ暖かくなってきているのを感じます。学校では提出した課題のフィードバックとして先生から「成長したね」と褒められたり新学期に入って新しい留学生の友達を作れたり、自分の成長をわずかながら感じることも増えてきました。

先日、オーストラリアの学校に通ってきて初めての筆記のテストがありました。それまではテストと呼ばれるようなものは何もなく、ターム2は最初から最後まで通いましたが提出物はデジタルでの課題のみで小テストも学期末試験のようなものもありませんでした。先日行ったのは数学のテストで、範囲は三角比と三角関数、テスト時間はたっぷり90分でした。私が受けたのはチートシートを持ち込める筆記のテストだったのですが、他にも Oral Presentation という授業の最初に渡される問題にコンピューターなどを使って90分かけて準備し授業の最後に5分間のプレゼンを行う形式のもの、Extended Response という数学の証明と数学の歴史の知識を用いて自身の考えを述べる形式のものがあり、生徒はこれら3つの中から選択して受けることができました。私は最も英語力を必要とされないであろう筆記テストの形式を選びましたが、数学や英語力に自信のある生徒は他の形式を選んだのだと思います。この数学のテストは何の略かは分からないのですが SAT と呼ばれる、大学へ進学するために必要なもののひとつであるようです。オーストラリアの高校も日本の高校も大学進学を目標にカリキュラムを組む学校が多いことは共通しているものの、生徒が具体的に何をすべきなのかという点で大きな違いがあることに気づきました。

留学最終日まであと3か月を残すところとなり、そろそろ帰国までのカウントダウンが始まってしまうのかと思うと名残惜しい気持ちでいっぱいです。帰国時に後悔が残らないように、やりたいことに全て挑戦して終われるように、残り少ない留学期間も有意義に過ごしていきたいと思います。

白鷗高校 14 期生 次世代リーダー10 期生 K・M